

SBI

1. 動作概要

PCのターミナルソフトからのコマンド入力(UART経由)によりマスタモードの設定、マスタ側にwriteコマンドを入力すると、スレーブ側に1バイトデータ（0xA3）を送信します。スレーブ側は送信されたデータを保存します。マスタにreadコマンドを入力するとスレーブにデータ（0xA3）送信を要求します。スレーブ側は送信要求があると、保存したテストデータをマスタへ送信します。

2. 各設定

<u>SBI</u>	: SDA0(Port23) : SCL0(Port24)	
<u>UART</u>	: TXD2(Port93) : RXD2(Port94)	
<u>コマンド一覧</u>	: master : write : read	マスタモードに設定する マスタからスレーブにテストデータ(0xA3)を送信する マスタからスレーブに保存データ送信要求を行う
<u>シリアルポート設定</u>	ボーレート データ パリティ ストップ フロー制御	: 115200(bps) : 8(bit) : なし : 1(bit) : なし

3. 基本動作

ボード 2 台を結線後、いずれもターミナルソフトにUART接続しスレーブモードで起動する。一方を”master”コマンド送信によりマスタモードに設定する。マスタ側のターミナルソフトにて”write”コマンドを入力することでマスタ側からスレーブ側に 1 バイトのデータ = 0xA3を送信し、スレーブ側は受信後このデータを保存する。マスタ側のターミナルソフトにて”read”コマンドを入力することでマスタ側からスレーブ側にデータ送信を要求し、スレーブ側は受信後マスタ側に先で保存したデータを送信する。

4. 特記事項

- 下記機能はなし
- ・スタートバイト
 - ・10ビットアドレス指定
 - ・SDA端子、SCL端子の立下りエッジスローブコントロール